

肥料価格高騰対策事業の「化学肥料低減に向けた取組メニュー」について

取組メニュー	取組例	取組確認書類の例
ア 土壌診断による施肥設計	<p>土壌分析に基づく土壌診断を実施し、診断結果に基づいて施肥量を調整する。</p> <p>《土壌診断の例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全農いわてや民間分析事業者による土壌診断 (土壌分析値のみ入手した場合は、別途診断が必要です)</li> <li>・簡易キット(パックテスト、みどりくん等)による診断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌診断結果</li> <li>・簡易分析キットを用いて分析し、その結果に基づき施肥設計した記録</li> <li>・農作業日誌等(施肥内容が分かるもの)</li> </ul>
イ 生育診断による施肥設計	<p>生育診断の結果に基づいた施肥を実施する。</p> <p>《生育診断の例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生育状況の計測</li> <li>・葉色板や SPAD 等による葉色の計測</li> <li>・作物体分析(RQ フレックス等)</li> <li>・樹勢観察による生育診断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生育診断を行った際の生育状況の写真</li> <li>・生育診断結果</li> <li>・農作業日誌等(施肥内容が分かるもの)</li> </ul>
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産地の低投入型の施肥設計に基づく施肥を実施する。</li> <li>・県の補給型施肥基準に基づく施肥を実施する。</li> </ul> <p>《水稲での取組例》</p> <p>補給型施肥基準を導入し、水田に稲わらを鋤き込む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該産地における栽培暦及び施肥設計 (慣行及び低投入型施肥量が分かるもの)</li> <li>・農作業日誌等(施肥内容が分かるもの)</li> </ul>

<p>エ 堆肥の利用</p>	<p>家畜由来の堆肥やバーク堆肥等の堆肥を施用する。 (自給堆肥も対象です)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用した堆肥の写真(製品の外袋、散布前の保管状況、散布作業等)</li> <li>・購入堆肥の場合、肥料の名称が記載されている請求書や納品書</li> <li>・農作業日誌等(施肥内容が分かるもの)</li> </ul>
<p>オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)</p>	<p>普通肥料の汚泥肥料を施用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥料の名称が記載されている請求書や納品書</li> <li>・農作業日誌等(施肥内容が分かるもの)</li> </ul>
<p>カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)</p>	<p>鶏糞燃焼灰やてんろスラグ(てんろ石灰)等を施用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用した資材の写真</li> <li>・購入資材の場合、肥料の名称が記載されている請求書や納品書</li> <li>・農作業日誌等(施肥内容が分かるもの)</li> </ul>
<p>キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用</p>	<p>有機質原料が含まれている肥料を施用する。 (有機質原料の含有量は問いません。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用した肥料の写真(製品の外袋)やチラシ</li> <li>・購入資材の場合、肥料の名称が記載されている請求書や納品書</li> </ul>
<p>ク 緑肥作物の利用</p>	<p>休閑期に緑肥作物を栽培し、土壌へのすき込みを行う。 《緑肥作物の例》 レンゲ、イタリアンライグラス、ハイオーツ、マリーゴールド、ヘアリーベッチ、ソルゴー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用した緑肥の写真(生育状況、すき込み作業等)</li> <li>・農作業日誌等(緑肥の利用が分かるもの)</li> </ul>
<p>ケ 肥料施用量の少ない品種の利用</p>	<p>慣行に比べ、施肥量の少ない品種を利用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業日誌等(品種の変更が分かるもの)</li> <li>・変更前後の品種の施肥に関する情報(種苗メーカーに既存品種と施肥量の少ない品種の比較データを提供してもらう等)</li> </ul>

<p>コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用</p>	<p>L型肥料(低PK銘柄)や窒素単肥(尿素、硫酸等)を施用する。          ※リン酸、カリが不足するほ場で、L型肥料+リン酸・カリ単肥を使用する場合は、本メニューに該当しません。          (ただし、コストダウンになる場合は、取組メニュー「セ」となります。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業日誌等(施肥内容が分かるもの)</li> <li>・購入した肥料の名称が記載されている請求書や納品書</li> </ul>
<p>サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)</p>	<p>施肥量の調節ができる機械を利用する。          《機械の例》          可変施肥田植機、施肥マップに基づき可変施肥を行うブロードキャスター等          ※手動で施肥量を調整するブロードキャスターは対象となりません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業日誌等(施肥内容が分かるもの)</li> <li>・可変施肥機の作業状況等の写真</li> </ul>
<p>シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用</p>	<p>施肥方法を全層施肥から局所施肥に変更する。          《例》          ・水稻の全層施肥から側条施肥への転換          ・点滴灌水</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業日誌等(施肥内容が分かるもの)</li> <li>・局所施肥の作業状況等の写真</li> </ul>
<p>ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用</p>	<p>育苗箱全量施肥やポット・セル苗全量施肥を実施する。          《例》          「苗箱まかせ」の利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業日誌等(施肥内容が分かるもの)</li> <li>・利用した肥料の写真(製品の外袋)やチラシ</li> </ul>
<p>セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)</p>	<p>既存の肥料に比べ、成分あたりのコストを抑えた肥料銘柄への変更          《例》          オール14号への変更</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業日誌等(施肥内容が分かるもの)</li> <li>・使用量及びコストの節減がわかるもの</li> </ul>
<p>ソ 地域特認技術の利用</p>	<p>(岩手県では設定していません)</p>	<p>—</p>